

くずれるしかない エリコのまち

ヨシュア
6章3～5節

あなたがた戦士はすべて、町のまわりを回れ。町の周囲を一度回り、六日、そのようにせよ。七人の祭司たちが、七つの雄羊の角笛を持って、箱の前を歩き、七日目には、七度町を回り、祭司たちは角笛を吹き鳴らさなければならない。

イスラエルの民がカナン^{かんが}の地へ入ると、そこにはエリコという大きな町がありました。エリコは、とても大きくて守りのかたい町^{まち}でした。そのとき、神様^{かみさま}はヨシュアに町のまわりを六日間、静かに回って、七日目になったら、祭司^{さいし}がラツパを吹いて、大きな声で叫べと言われました。主なる神様^{かみさま}のみことばのとおりしたイスラエルの民の前で、その大きな城壁^{しろ}は崩れ落ちました。

私たちは、自分たちの目の前に困った問題^{もんだい}があるとき、自分の考え^{かんが}で困難^{かいかん}を解決^{かいけつ}しようとし、それでは神様の働き^{かみさま}と答え^{こたえ}を見ることができません。イスラエルの民にとってカナン^{かんが}の地へ行くことは契約^{けいやく}だったように、神様^{かみさま}は私たちに世界^{せかい}福音化^{ふくいんか}の契約^{けいやく}をくださいました。エリコのような問題^{もんだい}があるとき、神様^{かみさま}のみことばを握り^{にぎ}ましょう。神様の約束^{やくそく}は変わりません。この約束^{やくそく}を握ったレムナントの行く道^{いみち}に、神様^{かみさま}が答え^{こたえ}を与えてくださるのは当然^{当然}のことでしょう。問題^{もんだい}を恐れずに、神様^{かみさま}のみことばに耳^{みみ}を傾^{かたむ}けて、みことばについて行きましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神の子どもに与えてくださった変わらない契約^{けいやく}を握^{にぎ}って行く途中で出会うすべての問題^{もんだい}には、神様の答え^{こたえ}があると信じます。生きておられるイエス・キリストのお名前^{なまえ}によってお祈^{いの}りします。アーメン



書いてみよう

契約^{けいやく}のみことばをいのちのように握^{にぎ}っていたイスラエルの民^{たみ}について考^{かんが}えながら、下^{した}のみことばをなぞって書^かいて、神様^{かみさま}がくださった世界福音化^{せかいふくいんか}の契約^{けいやく}をもういちど心^{こころ}に刻^{きざ}みましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

準備する資料

そなえられた ともだち

ヨシュア 6章 25節

しかし、遊女ラハブとその父の家族と彼女に属するすべての者とは、ヨシュアが生かしておいたので、ラハブはイスラエルの中に住んだ。今日もそうである。これは、ヨシュアがエリコを偵察させるために遣わした使者たちを、ラハブがかくまったからである。

神様は契約に従って行ったヨシュアとイスラエルの民に、エリコの町が崩れる答えを与えてくださいました。エリコの町の中で生き残った人は、遊女ラハブの家族だけでした。彼女は、神様によってエリコの町に備えられた人でした。

ラハブはエリコの町を偵察に来た斥候二人をかくまいました。そのとき彼女は二人に、すでにこの地の住民は神様がイスラエルの民を通してなさった事を聞いて、震えていると言いました。この言葉によって、二人は力を受けました。その後、エリコの城壁は崩れてみんな死にましたが、神様は約束どおり、ラハブの家族を助けられました。神様に用いられたラハブはダビデの先祖になり、そのダビデの家系からイエス・キリストが生まれる祝福を受けました。

今日、私の行く所で神様があらかじめ選んで備えられているラハブのような弟子を発見できるように祈りましょう。私を通して福音を受けて弟子になる友だちを神様が隠しておられるということを忘れないようにしましょう！

みことばを
適用しよう



いまは問題に見えますが、それは私の考えを超えた神様の計画であり、神様が答えてくださっていることです。それについて考えてみましょう。そして、感謝を5つ書きましょう



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私の現場にラハブのような福音を待っている備えられた友だちがいることを信じます。現場でその子を見つかけられるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

オールイン (All-in)

【テモテ】 4章 15節

これらの務めに心を砕き、しっかりやりなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。

私は救われた神の子どもです。神様が細かいところまで導いてくださっています。サタンはその導きから外れるようにと、あれこれ邪魔をします。しかしそのサタンは、すでに頭が踏み砕かれているので力がありません。この事実を知る私が集中しなければならぬことがあります。神様が最も重要に見ておられる福音です。そして、福音を伝える神様の計画に集中しましょう。それがオールインです。

私はまだ何の力もないように思えるでしょうが、毎日、福音の内容であるイエス・キリストを味わっていると、私のまわりからだんだん変わりはじめます。福音にオールインして、私の学校現場と教会のことを祈って、神殿建築と237か国の福音化を心に抱いて献金しましょう。勉強しなければならぬ理由も、福音を伝えるためだと覚えましょう。友だちに会って、遊んで、学ぶすべての行動の理由が、福音を宣べ伝えるためだということがわかれば良いのです。

今日、みことばを読んで祈るこの時間、ただキリストだけが私と世の中を生かす御名であることを知って、福音を味わう祈りにオールインする時間を持ちましょう。



きょうのみことば



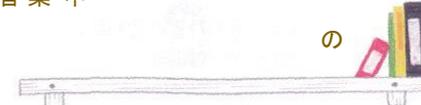
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ただ福音を味わって、宣べ伝えることにオールインするように、私の考えを祝福してください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを 適用しよう

福音集中



の 単独システム



福音に集中する 方法



時間

場所



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび 準備する資料

レムナントの れいてき ぶき

エペソ 6章12節

わたしたちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。

武器とは、戦いの勝敗を左右するものです。小さな力で敵に大きな被害を与えることができるからです。特に強力な武器を使用するほど、敵との戦いに勝利する可能性が高くなります。私たちが戦う霊的戦争にも武器が必要です。神様は、神の子どもに戦いの道具として悪魔と戦って勝てる霊的武器を与えてくださっています。

神の子どもは、この霊的武器は伝道と宣教、そしてこの2つを味わう祈りです。サタンは、福音を持っているレムナントがあちこちに立てられることと、全世界に福音を伝える伝道宣教運動を起ることを最も恐れます。

レムナントは、この時代の霊的戦争をする霊的兵士として召されました。ですから、霊的武器を扱うための訓練をしなければなりません。霊的訓練ができていることを24と言い、その奥義を持っている人を霊的サミットと言います。レムナントはこれから霊的武器を祈りで味わう24時の祝福に挑戦しましょう。霊的武器を持って霊的戦いで勝利する霊的サミットになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。祈りで福音を味わう霊的サミットになることを願います。伝道と宣教を味わう祈りという霊的武器で、237か国を生かすように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんでいます

6月は何を悩んでいますか



パク・ウヨン牧師夫人

わたしなやんでいます

21の伝道者の生活13番目の質問!

私が当然ははじめなくてはならないことはなんでしょうか

当然とは「そうなるのがあたりまえであること、道理にかなっていること。また、そのさま。(コトバンクより)」です。レムナントには、神の子どもとして、当然、知っておかなければならないことと、当然、はじめなければなりません。

最初に、霊的事実について知しましょう。なぜ人は必ず失敗するのか、成功しても崩れる理由を知れば良いのです。二つ目、人は神様に会うものとして創造された霊的存在だということです。ですから、神様を離れば、サタンがしかけた罪と死の原理に捕らえられるしかありません(ローマ8:2)。三つ目、この地に起きる問題は、霊的問題です。四つ目、これこそ私たちが霊的な力を受けることをはじめなければならぬ、当然の理由です。このように、四つの当然知っておかなければならないことを確認したレムナントには、当然、はじめなければなりません。霊的なご飯を食べる時間を持つことです。

朝起きたら、まずはじめに神様のみことばを黙想して、神様と対話する時間を持ちましょう。神様は神様を求める者たちに、約束どおり聖霊を注ぐと言われました。聖書の中の信仰の人々は、みんなこの時間を持ちました(詩篇55:17) 私たちは、この時間に、今日のみことば、祈り、伝道を見つける3つの今日をしながら、神様を与えてくださった霊的な力で現場に行くようにしましょう。この力で一日をはじめるなら、どんな問題に出会っても、主がくださる平安の中で導かれるようになるでしょう。

きょうのでんどう

Blank grid for writing the daily devotion.

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

0.1%のレムナント

イザヤ 11章 7~8節

あなたがたは恥に代えて、二倍のものを受ける。人々は侮辱に代えて、その分け前に喜び歌う。それゆえ、その国で二倍のものを所有し、どこしえの喜びが彼らのものとなる。まことに、わたしは公義を愛する主だ。わたしは不法な略奪を憎む。わたしは誠実を尽くして彼らに報い、どこしえの契約を彼らと結ぶ。

まだ福音を聞いていない人が、全世界の人口の半分以上もいると言われています。ヨーロッパやアメリカで福音がなくなってきて、閉鎖した教会や信徒どうしでけんかする教会がますます増えています。宗教と偶像崇拜をする教会が多くなってしまいました。神様はこのような時ごとに、0.1%のレムナントを召して福音を回復させ、宣教運動を通して99.9%の現場に福音を宣べ伝えさせました。

伝道と宣教は、福音を妨げる暗やみの勢力との霊的戦争です。レムナントのモーセを通して回復した福音は、イスラエルの民をエジプトの奴隷から解放しました。果てしなく続く戦争に苦しんだイスラエルの国は、レムナントのサムエルが回復した福音で、戦争が終わって隣の国を生かすようになりました。

神様は、レムナントの私たちに福音を回復してくださいました。この福音を奪われてはなりません。私たちは、まだ子どもで力がないかもしれませんが、まことの福音を守って、まことの伝道とまことの宣教の祝福を味わうことを決断しましょう。0.1%のレムナントとして、1000年の答えを受けて、237か国を生かす神殿とRUTCの主役になりましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。0.1%のレムナントである私が、福音を回復して、伝えるまことの福音、まことの伝道、まことの宣教の祝福を味わえますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ちがうところを
見つけよう

まことの福音、まことの伝道、まことの宣教で237か国を生かす、私と同じ0.1%のレムナントの友だちの絵です。

7つのちがうところを見つけてみましょう。



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

レムナントに こくいんされるべきこと

創世記
12章1節

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。」

イスラエルからローマに伝えられた福音が、ヨーロッパ全体で宣べ伝えられました。その後、福音の火種は福音文化として広まって、いろいろな時代に音楽や美術、文学などの芸術の花を咲かせました。しかし今、ヨーロッパの文化を調べてみると、福音でないこと、混ざった福音、宗教的な福音の文化が残っています。その結果、残っていた福音さえもなくなって、宗教の偶像と大差ない文化になってしまいました。

神様はいま福音を回復しようとされています。ですから神様は、ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊の力にとらえられたレムナントを召されました。

アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフと続いた福音回復の流れを考えてみましょう。そして、私たちがまずレムナントとして、刻印、根、体質を福音に変えましょう。礼拝とみことば、祈り、伝道、〈子どもの祈りの手帳〉を含めたすべての霊的訓練を通して、福音を刻印するための時間を持ちましょう。ある日、福音を回復した霊的サミットになって、現場を変化させるレムナント宣教師の座にいます。



めいろ

きょうのみことばをもう一度読んで、かくれている単語を見つけましょう。重要な単語なので、それを通してみことばに深く集中するようにしましょう。



神様はいま()を

()回復しようとされています。

ですから神様は、()()、

()()、()()の力に

とらえられたレムナントを召されました。

すべての()を通して、

()を()するための()を

持ちましょう。

()を()した()に

なって、()を()させる

()の座に

います。

きょうの でんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私たちは足りない者ですが、私たちの中におられるキリストの力で、現場を生かすレムナント宣教師となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン